

## 美浜町小中一貫校基本構想ワークショップ（第4回） 会議記録

日 時：2023年1月24日（火） 19時～21時

場 所：美浜町役場3階 大会議室

参加者：35名

テーマ：「地域～地域にとって学校って何だろう～」

新しく計画する小中一貫校への夢や想いを語ろう！

ねらい：新しい学校と地域との関係について考えてみる。

地域にとっての学校の役割、学校にとっての地域の役割を具体的に話しあう。

### 1 前回の振り返り

- ・ 前回は、「美浜」をテーマに、それぞれの学区にある資源（ひと、活動、もの、場所）を発見するとともに、新たな学校にどう活かせるかを話し合った。
- ・ お祭りなどイベントごとが多くある。それぞれの学区の特徴がよく出ている。
- ・ 地域の固有のグループや団体が実施している行事もあった。
- ・ 地域の中のキーパーソンの名前も出てきた。
- ・ 学校が1つになったとき、自然にまつわること、歴史にまつわることなど、どのようにこれらを融合していくか。
- ・ 場所の風景をどのように新しい学校に反映させるか。
- ・ 新しい学校にある資源をどう活かすか。美浜らしさをどうとりあげるか。授業にも生かしていけるとよい。
- ・ 学校は地域の大切な施設
- ・ 地域と学校 相互の連携・・・地域が支える学校、学校が中心の地域、防災拠点
- ・ 子どもの学びの場でありながら、地域のシンボル、よりどころでもある。
- ・ コミュニティスクールは、学校と地域が関係をもつことの大切さを表している。
- ・ 学校で学ぶ子どもたちを、地域で支援できることはないだろうか？  
例：サポーター、ボランティア、放課後支援、登下校・見守り支援、環境整備、  
地域との交流活動、授業とは違う体験をしてもらう  
さまざまあるが、だれがやるの？・・・やってくれる方がいないとできない
- ・ 学校は設備が整っている・・・運動場、体育館、プール、実習室、図工室、図書室  
空いている時には使いたいと思う。
- ・ 多くの地域で、地域の交流施設・文化施設として学校がシフトしていく事例がある。

## 2 グループワーク（今回は、地区別でなくシャッフルしたグループ分け）

本日のテーマ「地域」

- ① 学校の中で使ってみたい施設はありますか？どんな施設があったら使ってみたいですか？
- ② 地域・団体・グループは、どんな学校支援ができますか？（主語＝地域）
- ③ 私ができる学校支援はなんですか？（主語＝私）

## 3 発表

### Aグループ

施設：運動できる施設、体力づくり関係の施設、音楽室（大きな音で練習ができる）

保健室（地域の人の健康管理を手軽に行う）

理科室・調理室（農業、漁業の後継者を育てる学校になるとよい）

地域：地域の大学の活用、見守り、学校の手伝い、都市農村交流（都会で生きづらい子が美浜でリフレッシュできるなど、人を受け入れ）＋大学の先生が学校と連携して、さまざまな子どもの受け入れ、小中学校の授業サポート、部活動指導、大学の給食センターの活用、よい先生に来てもらう、教員が学べる地域、教員が力量向上できる学校づくり、大学と連携して「教員も学べる学校」をつくりたい

個人：草むしり、ボランティア

### Bグループ

施設：図書室（気軽に利用できる、静かではなく緊張しない）、保健室（気軽に相談できるシステムのもの）、温水プール、パソコン教室、Wi-Fiがつかえる場所

地域：通学路の見守り、大学の活用（存分に活用したい）、大学生の活用、大学生に将来的に美浜へ来てもらいたい、大学生が美浜町で実習

個人：得意分野を指導する、授業のサポート、スポーツ・部活指導、地域のお祭りを盛りあげる

### Cグループ

施設：音楽室で練習、防音の部屋でバンド練習、お囃子の練習できる場所、

バスターミナル、大きなイベント時にスクールバスを活用、

芸術家が多い町（陶芸、ガラス）なので教室を開催してもらう、放課後児童クラブ、スイミングスクールをやってほしい、家庭科室で料理教室

地域：スクールガード、しめ縄づくりなど得意分野を生かした地域の先生、環境整備

個人：環境整備、草刈り、地域イベント、紙コップタワーの講師

## Dグループ

施設：音楽室で楽器練習、多目的ホール

地域：草刈り支援、子供食堂（家庭科室）、学校の中で延長保育

個人：夜間学校（学習指導、教室を塾として活用）

## Eグループ

施設：図書室、DIYをする場所、パソコンルーム、映画鑑賞できる場所

DIYを親子でやりたい、レンタルスペースも使いたい

プールを気軽に使いたい、ジム・ナイター施設、フットサルの施設

小さい子が安心して遊べるシステム、グラウンドで安心して遊べるように

地域：伝統の継承、見守り活動、清掃、草刈り、挨拶運動、体験学習

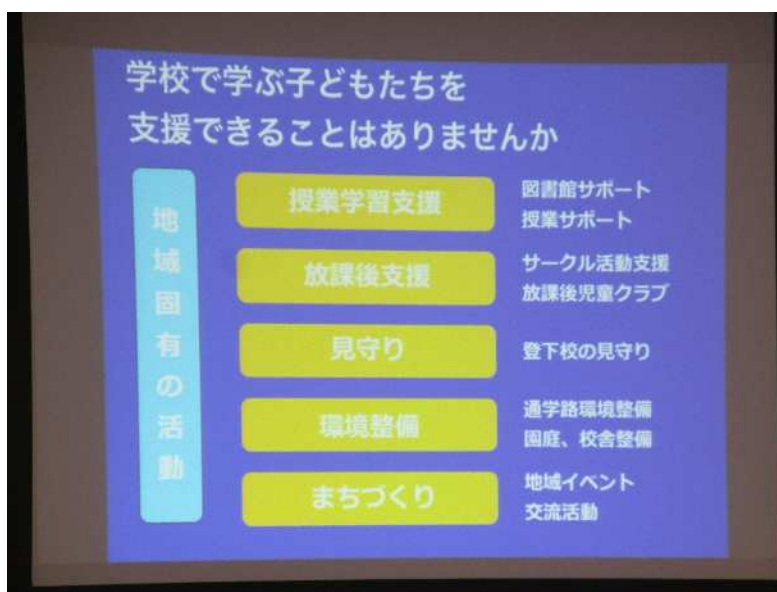
修繕・ペンキ塗り（子供と地域の人と一緒に学校を修繕する）

個人：清掃、見守り、軽作業、ICT教育支援、ボランティア

・学校ができること、地域ができること 相互の交流が大事。

・ギブ&テイクできるとよい

・施設の利用を有料化し、地域で利益を生む。先生の負担にならないようなシステムづくり



## Fグループ

施設：体育館で太鼓、スポーツクラブ、映画鑑賞、公園代わりに利用、温水プール

音楽室でバンド練習、英会話教室、お菓子づくり・料理教室、こども食堂

地域：生活指導、情報指導、防災教育、生け花、eスポーツ

個人：読み聞かせ、放課後支援、地域の歴史を伝える、草むしり、花の水やり

通学路の見守り、防災教育、アレルギー対応の支援、読みきかせ、餅つきの手伝い

#### 4 まとめ（鈴木先生）

- ・義務になると続かないが、自分でやりたいと思うとアイデア・意欲がわく。面白くなる。
- ・学校の先生は忙しいと思われると思うが、地域が自主的に動けるシステムを吸いあげることができると、うまくいく可能性が広がる。
- ・日本福祉大学は美浜町にとって大きな資源。大学生が活躍してくれるのは大きな魅力になる。
- ・「学校は地域になにをしてくれるか？」という議論を今日はしなかったが、学校と地域がWIN-WINの関係になるようにしたい。
- ・皆さんの意見を聞いて、素敵な学校ができそうな雰囲気を非常に感じる。
- ・今日の話は、また何らかの形でフィードバックしたいと思う。

#### 5 今後の予定についてお知らせ（事務局：学校教育課長）

- ・今後、区長代表や保護者代表で構成している「美浜町学校再編検討委員会」でワークショップの成果を共有していく。
- ・今回のワークショップでの意見を反映した「小中一貫校整備基本構想」を来年度策定する予定。
- ・学校再編の検討経過について、「広報みはま」や町ホームページなど、さまざまな形で情報発信をしていく。
- ・今後、保護者説明会や住民説明会など地域住民のみなさんの意見を聞く機会をしっかりとくっていく予定をしている。

#### 6 教育長挨拶

- ・全4回のワークショップへの参加、ありがとうございました。
- ・地域のみなさんの声を聞くことは大切だと感じた。
- ・2月には、小中学校の子どもたちの意見を聞く機会を設ける予定をしている。
- ・今後策定する基本構想に、みなさんの声を生かしていく。
- ・来年度には建設場所が決定する予定である。そうするとより具体的な動きになっていくと思う。みなさんの夢が実現に向けてふくらんでいくとよいと思う。

以上